

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年8月18日 (2016.8.18)

【公表番号】特表2015-527669(P2015-527669A)

【公表日】平成27年9月17日 (2015.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-058

【出願番号】特願2015-527581(P2015-527581)

【国際特許分類】

G 0 5 G 1/36 (2008.04)

B 6 0 T 7/04 (2006.01)

B 6 0 T 7/06 (2006.01)

G 0 5 G 1/01 (2008.04)

G 0 5 G 1/30 (2008.04)

G 0 5 G 1/40 (2008.04)

B 6 0 K 26/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 5 G 1/36

B 6 0 T 7/04 A

B 6 0 T 7/06 C

G 0 5 G 1/01 F

G 0 5 G 1/30 E

G 0 5 G 1/40

B 6 0 K 26/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月24日 (2016.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原動機及びブレーキ機構を有する車両で用いるペダル装置であって、
軸線を定める支持体と、

前記ブレーキ機構を作動させるために第 1 の位置と第 2 の位置との間で前記軸線の周りに移動可能であるブレーキペダル組立体であって、当該ブレーキペダル組立体の前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間の移動と独立して、アンロック位置とロック位置との間で移動可能なラッチを含む、前記ブレーキペダル組立体と、

前記原動機を作動させるために初期位置と変位位置との間で前記軸線の周りに移動可能なアクセルペダル組立体と、

前記軸線の周りに配置され且つ複数の第 1 及び第 2 の歯を有する介在装置であって、前記ラッチが、前記ブレーキペダル組立体を当該介在装置に結合するために、前記ロック位置にあるときに前記第 1 の歯のうちの少なくとも 1 つと係合可能である、前記介在装置と、

前記軸線の周りに配置され、前記支持体に取り付けられたハブと、少なくとも 1 つの作動装置とを有するリテーナであって、前記作動装置が、前記介在装置の第 2 の歯のうちの少なくとも 1 つに選択的に係合して前記介在装置を前記リテーナ及び前記支持体に結合し、前記ラッチを前記ロック位置に保持し、且つ前記ブレーキペダル組立体を前記第 2 の位

置に保持するようにする、前記リテーナと、
を備えることを特徴とするペダル装置。

【請求項 2】

前記作動装置が前記ハブに枢動可能に結合され、前記介在装置の第 2 の歯との前記作動装置の選択的な係合を可能にする、請求項 1 に記載のペダル装置。

【請求項 3】

前記ハブが少なくとも 1 つのキャビティを定め、前記作動装置が、前記キャビティ内に少なくとも部分的に配置され、前記介在装置の第 2 の歯から離れて前記キャビティ内で枢動して、前記作動装置前記を第 2 の歯から係合解除する、請求項 2 に記載のペダル装置。

【請求項 4】

前記作動装置が、互いに離間して配置されたローブ及びタブを有し、前記タブが、前記第 2 の歯に選択的に係合し、前記アクセルペダル組立体が前記ローブに係合して、これに応じて前記タブを前記介在装置の第 2 の歯との係合から解放するように移動させる、請求項 1 に記載のペダル装置。

【請求項 5】

前記アクセルペダル組立体が、当接面を有する拡張部を含み、当該拡張部が少なくとも 1 つのチャンネルを定め、当該少なくとも 1 つのチャンネルが前記当接面によって少なくとも部分的に定められ、前記作動装置のローブが前記当接面から離間して配置された前記チャンネル内に延び、前記アクセルペダル組立体が前記初期位置にあるときに、前記作動装置のタブが前記介在装置の第 2 の歯に係合する、請求項 4 に記載のペダル装置。

【請求項 6】

前記アクセルペダル組立体が当接面を有する拡張部を含み、前記アクセルペダル組立体が前記初期位置と前記変位位置との間で移動するときに、前記拡張部が前記作動装置に選択的に係合して、前記介在装置の第 2 の歯から前記作動装置に係合解除し、前記介在装置の第 1 の歯から前記ラッチを解放するようにする、請求項 1 に記載のペダル装置。

【請求項 7】

前記介在装置が環状構成を有し、前記介在装置が前記軸線の周りに同心円状に配置される、請求項 1 に記載のペダル装置。

【請求項 8】

前記リテーナが、前記軸線の周りに同心円状に配置され、前記介在装置が、前記リテーナの少なくとも一部の周りに同心円状に配置される、請求項 7 に記載のペダル装置。

【請求項 9】

前記アクセルペダル組立体が、環状構成を有する拡張部を含み、当該拡張部が、前記リテーナの少なくとも一部及び前記軸線の周りに同心円状に配置され、前記アクセルペダル組立体が前記初期位置と前記変位位置との間で移動するときに前記拡張部が前記作動装置に選択的に係合して、前記介在装置の第 2 の歯から前記作動装置に係合解除する、請求項 8 に記載のペダル装置。

【請求項 10】

前記第 1 の歯と前記第 2 の歯が対向する構成を有し、前記第 1 の歯との前記ラッチの係合が、前記第 2 の歯との前記作動装置の係合に対抗して、前記軸線の周りの前記介在装置の回転を阻止する、請求項 1 に記載のペダル装置。

【請求項 11】

前記アンロック位置と前記ロック位置との間の前記ラッチの移動が更に、前記アンロック位置と前記ロック位置との間の前記ラッチの枢動として定義され、前記ラッチが、前記ロック位置において前記第 1 の歯の少なくとも 1 つと係合するよう枢動し、前記作動装置が、前記第 2 の歯に係合するよう選択的に枢動するタブを有する、請求項 10 に記載のペダル装置。

【請求項 12】

前記ラッチが、前記第 1 の歯から離れて連続的に付勢され、前記タブが、前記第 2 の歯に向かって連続的に付勢される、請求項 11 に記載のペダル装置。

【請求項 13】

前記作動装置が前記介在装置の第2の歯から係合解除されたときに、前記ラッチが前記アンロック位置に向けて付勢されて、前記介在装置の外側の歯から前記ラッチが係合解除可能となる、請求項1に記載のペダル装置。

【請求項 14】

前記ラッチが前記第1の歯に係合すると共に、前記作動装置が前記第2の歯に係合して、前記ブレーキペダル組立体の前記支持体への結合を可能にし、前記ブレーキペダル組立体前記を第2の位置に保持するようにする、請求項1に記載のペダル装置。

【請求項 15】

前記ブレーキペダル組立体に結合され当該ブレーキペダル組立体を前記第1の位置に向けて付勢する第1の付勢部材を更に備え、前記第1の付勢部材の付勢により、前記介在装置の第1の歯との前記ラッチの係合が可能となり、前記ラッチを前記ロック位置に保持し、且つ前記ブレーキペダル組立体を前記第2の位置に保持するようにする、請求項1に記載のペダル装置。

【請求項 16】

前記ブレーキペダル組立体が、第1の端部及び第2の端部を有するブレーキペダルアームと、前記ラッチ及び前記ブレーキペダルアームの各々に結合された駐車ブレーキアクチュエータとを含み、当該駐車ブレーキアクチュエータが、前記ラッチを前記アンロック位置と前記ロック位置との間で移動させるために前記ブレーキペダルアームに対して相対移動可能である、請求項1に記載のペダル装置。

【請求項 17】

原動機及びブレーキ機構を有する車両で用いるペダル装置であって、
軸線を定めるシャフトと、

前記ブレーキ機構を作動させるために第1の位置と第2の位置との間で前記軸線の周りに移動可能であり、前記第2の位置からの移動を阻止して前記ブレーキ機構を連続的に作動させるロック状態を有するブレーキペダル組立体と、

前記原動機を作動させるために初期位置と変位位置との間で前記軸線の周りに移動可能なアクセルペダル組立体と、

前記軸線の周りに配置され、前記ロック状態にあるときに前記ブレーキペダル組立体が係合する介在装置と、

前記シャフト及び前記軸線の周りに配置されたりテーナと、を備え、

前記介在装置が、前記リテーナの少なくとも一部の周りに同心円状に配置され、

前記リテーナが、前記介在装置に選択的に係合して前記介在装置と当該リテーナを結合させて、前記ブレーキペダル組立体を前記ロック状態に保持するようにする少なくとも1つの作動装置を有する、ことを特徴とするペダル装置。

【請求項 18】

前記アクセルペダル組立体が、前記リテーナの少なくとも一部の周りに同心円状に配置された拡張部を含み、当該拡張部が、前記作動装置に選択的に係合して、当該作動装置を前記介在装置から係合解除し、前記ブレーキペダル組立体を前記ロック状態から解放する、請求項17に記載のペダル装置。

【請求項 19】

前記リテーナがハブを有し、前記介在装置が前記ハブの周りに同心円状に配置され、前記拡張部が、前記作動装置の一部の周りに同心円状に配置される、請求項18に記載のペダル装置。

【請求項 20】

前記作動装置が互いに離間して配置されたローブ及びタブを有し、前記タブが、前記介在装置に選択的に係合し、前記アクセルペダル組立体が前記ローブに係合して、これに応じて前記タブを前記介在装置との係合を解除するよう移動させる、請求項17に記載のペダル装置。

【請求項 21】

前記アクセルペダル組立体が、当接面を有する拡張部を含み、当該拡張部が少なくとも1つのチャンネルを定め、当該1つのチャンネルが前記当接面によって少なくとも部分的に定められ、前記作動装置のローブが、前記当接面から離間して配置された前記チャンネル内に延び、前記アクセルペダル組立体が前記初期位置にあるときに、前記作動装置のタブが前記介在装置に係合する、請求項20に記載のペダル装置。